

## 米国 製造業は広がりを持って回復ペース加速(10年3月ISM製造業景気指数)

発表日：2010年4月1日(木)

～世界的に製造業部門が景気回復を牽引～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

### ISM製造業景気指数 は59.6と市場予想を上 回り、04年7月以来の 高水準

3月のISM製造業景気指数は、59.6と前月から上昇し市場予想の57.0を上回った。拡大縮小の分岐点である50を8ヵ月連続で上回ったうえ、2004年7月以来の高い水準となっており、製造業部門の回復ペースは加速している。雇用(前月比▲0.2%ポイント)が押し下げ寄与となった一方で、在庫(同+1.6%ポイント)、入荷遅延(同+0.8%ポイント)、生産(同+0.5%ポイント)、新規受注(同+0.4%ポイント)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比+3.1%ポイント上昇した。さらに、拡大した業種数は17業種と前月の11業種から大幅に増加し、広がりを持った製造業の回復を示している。

各国の景気刺激策による需要拡大、在庫調整の進展によって、製造業部門の回復傾向は持続している。また、ISMによると1～3月期の平均値である58.2は実質GDP換算で+5.4%成長を示すとしており、2010年1～3月期の実質GDP成長率の高い伸びを示唆している。

予想を上回った同統計発表直後の市場反応をみると、株価は一旦上昇したものの、ISM統計の1時間30分前に公表された週間新規失業保険申請件数が予想以上に減少したことを受け上昇していたことや、2月の建設支出が下ぶれたことから、直ぐに下落に転じ水準を切り下げた。10年債利回りも一旦上昇したが、低下に転じた。為替市場では、ドルは対円で強含んだ一方、対ユーロでの反応は限定的。

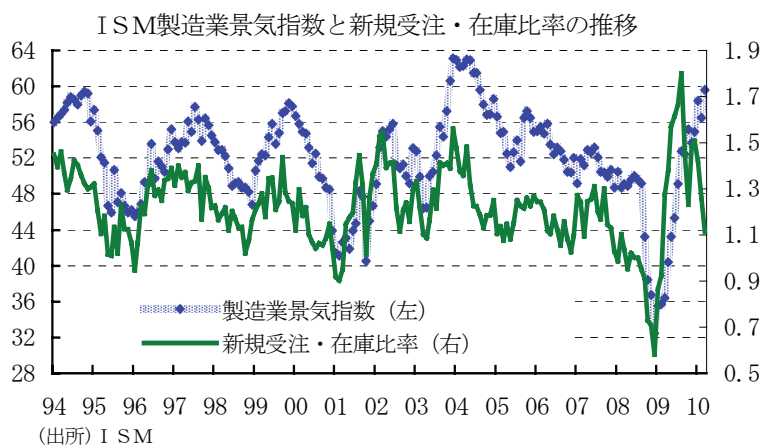
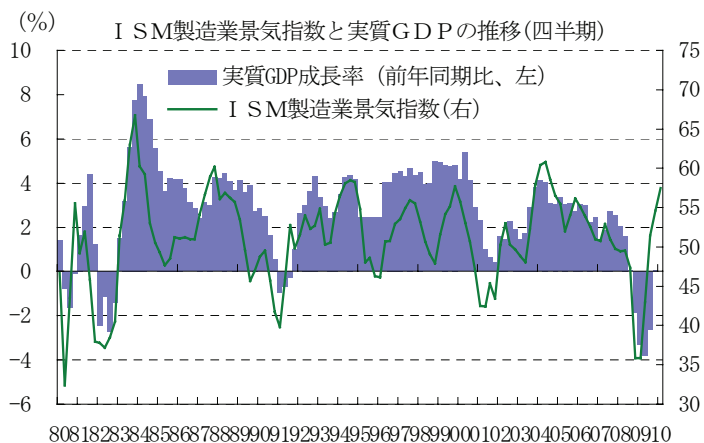
ISM (the Institute for Supply Management) の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
09/04	40.4	46.5	41.0	35.0	33.7	45.9	40.5	32.0	44.0	42.0
09/05	43.2	51.4	47.0	35.1	32.7	50.0	48.0	43.5	48.0	42.5
09/06	45.3	49.9	53.2	42.1	30.9	50.5	47.5	50.0	49.5	46.0
09/07	49.1	55.5	59.0	45.9	33.3	51.7	50.0	55.0	50.5	50.0
09/08	52.8	63.0	62.9	47.0	35.0	56.0	52.5	65.0	55.5	49.5
09/09	52.4	59.9	57.5	46.5	41.2	56.8	53.5	63.5	55.0	52.0
09/10	55.2	58.3	62.2	51.8	47.3	56.3	53.5	65.0	55.5	51.0
09/11	53.7	61.5	60.2	49.6	41.4	55.7	52.0	55.0	56.0	51.5
09/12	54.9	64.8	59.7	50.2	43.0	56.8	50.0	61.5	54.5	55.0
10/01	58.4	65.9	66.2	53.3	46.5	60.1	56.0	70.0	58.5	56.5
10/02	56.5	59.5	58.4	56.1	47.3	61.1	61.0	67.0	56.5	56.0
10/03	59.6	61.5	61.1	55.1	55.3	64.9	58.0	75.0	61.5	57.0

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

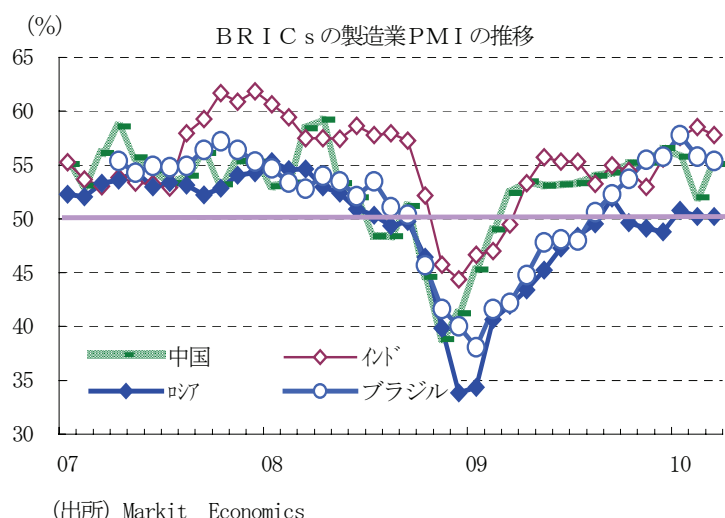
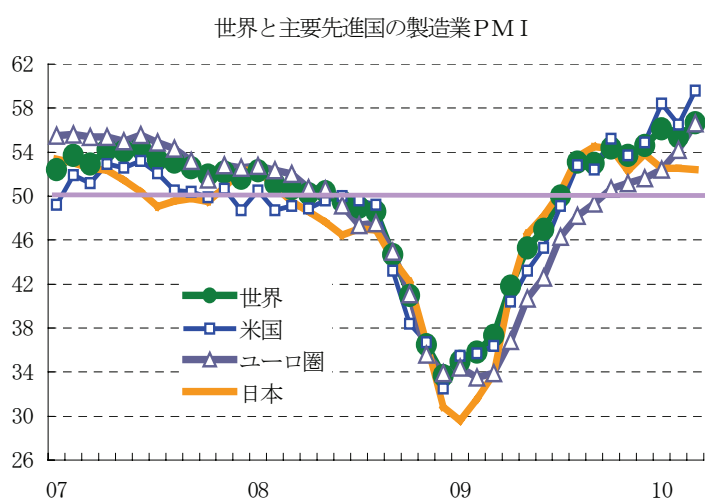
**ISM製造業景気指数は  
2010年4～6月期以降  
水準を切り下げる可能性**

今後に関しては、景気対策による最終需要の持ち直しや、ハイテク需要の拡大傾向、在庫復元の動き等による生産活動の活発化を背景に、2010年前半のISM製造業景気指数は高い水準で推移すると見込まれる。ただし、トレンドの変化に先行する新規受注・在庫比率が2009年8月をピークに10年3月にかけて低下していることから、ISM製造業景気指数は2010年4～6月期以降に水準を切り下げると予想される。



**世界製造業景気指数は  
56.7と高水準を維持し  
ており世界的に製造業  
部門が景気回復を牽引**

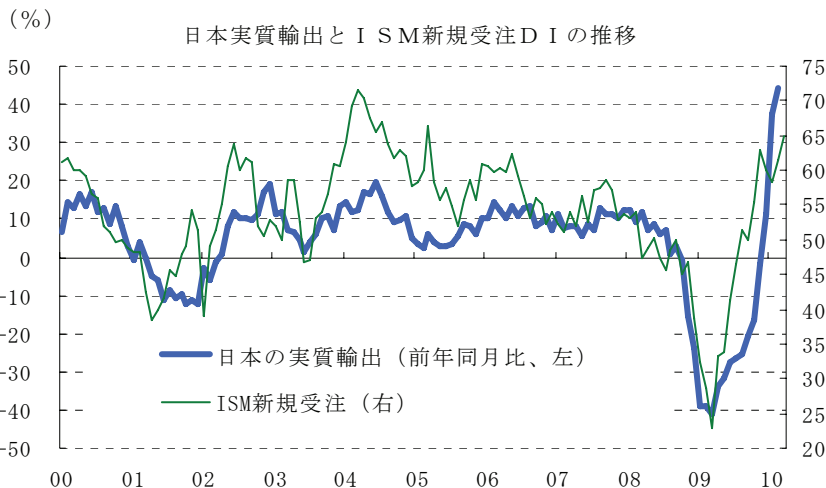
輸出受注DIが3月に61.5と前月比で+5.0%ポイントの大幅な上昇となったうえ50を大幅に上回っていることから、新興国、日本、ユーロ圏など世界経済の拡大持続を示唆している。実際、3月の各国の製造業景気指数をみると、ユーロ圏が6ヵ月連続で50を上回り加速している。日本も安定的に拡大している。新興国では、インド、ブラジル、中国などが高い水準を維持した。これら各国の数値を合成した世界製造業景気指数は、56.7（前月55.4）と高い水準に上昇しており、製造業部門は世界的に速いペースで拡大していることを示している。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

各国の米国向け輸出の拡大ペースは、今後数ヶ月に亘り高い伸びを維持

全体の動きに遅れて動く傾向がある輸入D Iが前月比1.0%ポイント上昇し57.0と高い水準を維持していること、日本の輸出・生産に先行する傾向がある新規受注D Iが前月比2.0%ポイント上昇し61.5と高い水準を維持していることから、日本を含む先進各国、B R I C s など新興国の米国向け輸出の拡大ペースは、今後数ヶ月に亘り高い伸びを維持することを示している。

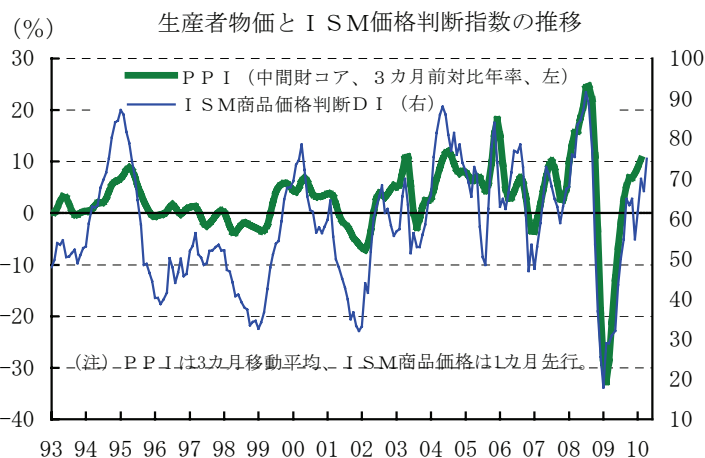
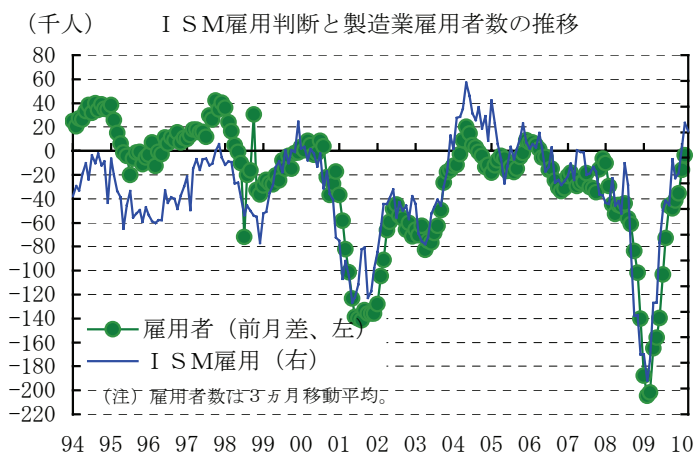


雇用DIが55.1と3月の製造業雇用者数の小幅増加を示唆

雇用DIが55.1と前月比1.0%ポイント低下したが、水準が高いため3月の製造業雇用者数は増加すると予想される。ただし、価格競争の激化の中でコスト削減圧力は強く、製造業部門の雇用増加は小幅にとどまると見込まれる。

価格判断DIは75.0と川中でのインフレ圧力の強まりを示す

仕入価格（価格判断DI）は、75.0と前月から8.0%ポイント上昇した。2008年ほどのインフレ圧力はないものの、川中でのインフレ圧力が強まっている。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。